

平成31年2月22日

保護者の皆さま

吹田市立千里第一小学校
校長 宮前 桂子

「こんな学校がいいな」アンケート結果のお知らせ

余寒の候、保護者の皆さまには益々ご健勝のことと存じます。平素は本校教育推進のため、ご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年11月に実施しました学校教育自己診断「こんな学校がいいな」アンケートにつきまして、ご協力ありがとうございました。択一部分の集計および記述部分についての回答ができましたのでお知らせいたします。

毎年実施しています学校アンケートは、実施することが法的に定められているだけでなく、保護者の方々からの直接の評価をいただくことで、学校改善につなげていける貴重な機会です。保護者の方々からいただいたご意見は各学年で集約し、その一覧をすべての教職員が目を通し、「学校改善に生かせるもの」「学校としての説明不足のもの」「さまざまな意見があると言う意味で参考にするもの」等に分類し、日々の学習指導や学校運営に生かしています。いろいろなご意見がある中で、これまでも学校としての一つの方向をお示ししてきました。すべての方々に納得していただくことはなかなかできませんが、今後も保護者の皆様方のご意見を参考にしながら、学校運営を進めてまいります。

【 集計について 】

回答数	保護者	————	685名	(児童数	740名)
	記述者数	————	46名		
	低学年児童	————	381名	(低学年児童数	382名)
	高学年児童	————	352名	(高学年児童数	358名)

【 児童アンケート 】

- ・ A よくあてはまる B ややあてはまる を合わせてプラス評価
C あまりあてはまらない D まったくあてはまらない を合わせてマイナス評価
として、分析しています。

< 択一部分については、後半にまとめて、3年間のアンケート結果を比較する形でグラフを入れ、データを示しています。 >

○特徴的な傾向のもの。

□ プラス評価が80%以上である項目

《低学年》

- ◎項目 1 「がっこうへいくのがたのしい。」
項目 2 「じゅぎょうはわかりやすく、たのしい。」
◎項目 4 「がっこうで、いのちのたいせつさや、ともだちへのおもいやりをまなぶことができる。」
◎項目 6 「せんせいは、いじめなど、こまっていることについてはなしをきいてくれる。」
◎項目 7 「せんせいは、がんばったときにほめてくれる。」
◎項目 1 1 「じしんやかじなどがおきたとき、どうしたらよいかを知っている。」

《高学年》

- 項目 1 「学校に行くのが楽しい。」
項目 2 「先生は教え方に工夫してくれる。」
項目 3 「授業はわかりやすく、楽しい。」
◎項目 5 「学校で、命の大切さや友だちへの思いやりを学ぶことがある。」
項目 7 「先生は、いじめなど、困っていることについて対応してくれる。」
項目 8 「先生は、がんばった時にほめてくれる。」
◎項目 1 3 「地震や火災などが起こった時、どうしたらよいかを知っている。」

※ ◎印は、プラス評価が90%を超えている項目です。

低学年では、「学校に行くのが楽しい」と「せんせいは、いじめなど、こまっていることについてはなしをきいてくれる。」「せんせいは、がんばったときにほめてくれる。」が年々プラス評価が多くなり本年度は、90%を超えています。高学年では「学校で、命の大切さや友だちへの思いやりを学ぶことがある。」と「地震や火災などが起こった時、どうしたらよいかを知っている。」が90%を超えています。「授業はわかりやすく、楽しい。」は低学年で90%、高学年で87%のプラス評価があり主体的に学習に臨めているように思われます。本校では、「主体的に自分の考えを表現できる子どもを目指して」をテーマに研究を行い、指導に活かしています。「教師が質問（発問）し、児童が答える」という授業にとどまらず、児童と児童が自分の考えを伝え合えるような授業を目指しています。各教科等の授業において児童と児童を繋ぐ支援を行うことで、児童の思考力や判断力、表現力をより一層育てていきたいと思っております。今後も、児童が主体となる学習を進めていくことができるよう研鑽を重ねてまいります。

また、「地震や火災などが起こった時、どうしたらよいかを知っている。」は低学年90%高学年95%とともに昨年度よりプラス評価が多くなっています。学校では地震や火災の避難訓練、不審者対応訓練、集団下校などの訓練を積み重ねてきました。これらの訓練に加えて今後も自分の命を守ることの大切さを指導していきたいと思っております。児童が6月の震災を体験し、自らの命を守ることの大切さを経験的に学んだことが影響していると思われます。